

令和2年4月2日

令和2年度 学校経営方針

北九州市立牧山小学校

校長 阿多博孝

1 学校教育目標 最後まで頑張る気持ちを持ち、仲よく元気に学び遊ぶことができる児童の育成

- 2 めざす子ども像
- がんばりぬく子ども
 - じっくり考える子ども
 - 思い切り遊べる子ども
 - 思いやりのある子ども

3 本年度の重点目標

(※ 教師も子どもも学校に来ることが楽しくなるような学級経営を目指します。)

(1) 「わかった！できた！もっとしたい！」やる気あふれる学級づくり (学ぶ力の向上)

- 子どもの得意を伸ばし発揮できる授業を行う。(自尊心を高めてあげてください)
- わかる授業づくり「5つのポイント」も大切だが、児童にあった指導を行う。
 - ・ 子どもの意欲、反応、笑顔を大切に、先生方の個性を發揮した指導を！！
 - ・ 基本的な学習習慣（聞く、話す、根気強く取り組むなど）を身に付けることの大切さを伝える。(意義や価値を伝える)
 - ・ 朝自習、家庭学習、サポートシステム等の活用方法を工夫する。

(2) 「私はこうだと思う。わけは…」自分の思いが自由に表現できる学級づくり (表現力の向上)

- 自分の思いを言葉、文章、態度、作品、音楽等で伸び伸びと表現するようにする。
 - ・ 児童の主体性を大切にした授業を実践する。
 - ・ 話し合い活動、グループ活動を工夫した授業を実践する。
- 保・幼・中との交流、地域の方との交流を通して、自主性、積極性を發揮し、表現力、コミュニケーション能力を育てる。

(3) 「準備ができた！きれいになった！おはよう！」気持ちのよい学級づくり

(基本的な生活習慣の育成)【時を守り、場を清め、礼を正す】

- 自ら時間を見て時間を守りながら行動できるようにする。
- ていねいにだまって(黙動)清掃ができるようにする。
- 誰に対しても気持ちの良い明るいあいさつができるようにする。
 - ・ 全職員、全児童が気持ちよくあいさつできるようにする。(職員室前のあいさつ)

(4) 「自分は〇〇が得意！〇〇が大好き」生きがいを感じる学級づくり（特別支援教育の充実）

- 児童が自尊感情を高め、牧山小学校の一員でよかったと思えるようにする。
 - ・ 特別支援教育コーディネーターを中心に児童の情報を全職員で共通理解する。
 - ・ 特別支援学級と交流学級との交流、他校の特別支援学級との交流を深める。

(5) 「ありがとう！ごめんなさい！だいじょうぶ？」安心できる学級づくり

（生徒指導体制の確立）

- 学級の友達を大切にしながら、思いやりの気持ちをもって行動できるようにする。
 - ・ 不登校、いじめが起こらないように全職員で情報交換を積極的に行う。
 - ・ 共感的な児童理解を基盤にして学級経営、授業を行う。
 - ・ 一人で悩まず、学年、部会、管理職と相談しながら取り組む。

4 教職員の具体的行動目標

- ワーク・ライフ・バランスを大切に、互いに支え合いながら充実した学校生活を送る。
 - ・ 何でも相談できるような雰囲気をつくり、楽しく仕事ができるようにする。
 - ・ 遅くなっても19時までには帰宅できるように計画的に勤務する。
- 若年研修を充実させ、学校全体で経験年数の少ない教員を育てる。
 - ・ 定期的に、また、必要に応じて若年研修を行う。
 - ・ 毎日の教育活動を通して、教師として必要な知識や技能を積極的に学ぶ。
- 公務員倫理を遵守する。
 - ・ 全体の奉仕者としての立場を自覚して、絶対に不祥事を起こさない。
（飲酒運転等の交通事故、体罰、情報管理、各種ハラスメント、等）
 - ・ 積極的に研修を行い、意欲的に学ぶ。

5 主題研究について

- キャリアに少しでも役立つような研究をする。
 - ・ 児童が楽しく生き生きと活動する学級経営のアイデアなどを共有する。
 - ・ 誰にでもできる学級経営、授業を目指す。
 - ・ まずはやってみる！そして工夫する！

※ 児童が、牧山小学校の児童でよかった、〇〇は自信がある、得意だ、など少しでも誇りがもてる学校となるようにご協力をお願いいたします。

1年間、よろしくお願いいたします。